



いわて・みやぎ・ふくしま 便り

No. 8

2019 年
1 月 25 日発行

日本生協連
組合員活動部

年が明けての便り 1 号目となります。今年も全国へ、岩手県、宮城県、福島県と、応援し合う皆さんの様子をお伝えしていきます。改めまして、今年もよろしくお願いいたします。

最近のトピックでは、都道府県駅伝男子で東北勢初の福島県が優勝！おめでとうございます！昨年惜しくも逃した甲子園の優勝旗も、今年こそ白河の関を越えることを楽しみにしています。



組合員のみなさんが編んだ毛糸のモチーフをつなぎ「ひざ掛け」に。

当便り 2018 年 8 月 31 日発行号でご紹介した「毛糸のモチーフづくり」で集まったモチーフをつなげた「ひざ掛け」が完成！

1 月 11 日、サン・ビレッジ高田（陸前高田市）で開催のふれあいサロンで、完成した 14 枚を参加者のみなさんにプレゼントしました。

昨年 6 月から組合員に呼びかけたモチーフ作りは、「台風 10 号・東日本大震災の被災者に暖かい冬をすごしてほしい」と組合員のみなさんに呼びかけた復興支援活動です。

「毛糸のモチーフ」は 5,688 片集まり、24 片を 1 枚につなげる作業も組合員が行い、237 枚のひざ掛けができました。活動に最初から参加した角田信子さん（下の写真左端）は、「一つひとつに私たちの心をこめて編みました。今日受け取ったみなさんに喜んでいただけて、その気持ちが届いたことが嬉しかったです」と話していました。

「ひざ掛け」は、これまでに台風 10 号被災者に 168 枚を贈呈し、残りはふれあいサロン参加者に差し上げます。



かぎ針で編んだモチーフ



皆でひざ掛けをかけて♪



被災地の今 大槌町中心部の様子

大槌町は岩手県内でも被害の大きかった街の1つ。町の中心部もやっと建物が並び街らしくなってきました。震災後運休していた鉄道は、3月23日の復旧へ向けて駅前の工事が急ピッチで進められています。なおこれまではJR山田線区間でしたが、第三セクターの三陸鉄道へ移管されての復旧となります。

2枚の写真は、大槌町の城山という高台から撮った大槌町中心部の写真です。



2017年9月撮影



2019年1月撮影

震災からまもなく8年でやっとここまで。住宅も増えてきましたが、まだ空き地も目立ちます。解体か保存かで議論されていた旧役場庁舎の解体工事も始まりました。機会があれば、今の様子をご覧に足を運んでみてください（ご連絡いただければご案内いたします）。



災害被災地への支援ボランティアに取り組みました。



グループごとに協力しながら作りました。

全国の生協から寄せられた支援の恩返しの思いも込めた、災害被災地へ送る手作りキットづくりボランティアの2回目を12月20日に実施しました。居住地域の近い方々が同じテーブルとなり、初対面の方も地域の話などから会話が広がり、協力しながら「おひな様かざり」のキットを1人分ずつにセットして、メッセージを添えてラッピングしました。

作りながら、岩泉や熊本の現状を心配する声も出されるなど、遠く宮城から現地へ思い

を馳せる機会となりました。作ったキットは、1月に生協くまもとや岩泉町社協で開催されているお茶会へお送りしました。



メッセージとともにラッピング



とうほくてしごとカタログ「FUCCO（フッコ）」Vol.4 を発行しました！

被災された方々による手作り雑貨を掲載しているカタログ「とうほくてしごとカタログ「FUCCO」Vol.4 を発行しました。みやぎ生協の店舗に設置したほか、ホームページでも公開しています。商品購入だけでなく、商品販売にもご協力いただきたいと、Vol.2 より始めた委託販売の流れを図解し、商品量の目安や商品展示などの販売事例を写真で紹介しています。

バザー、おまつり、復興支援イベントなどでの、手作り商品販売にご協力いただき、商品購入を通じた復興応援にご協力ください。

(<https://www.miyagi.coop/support/shien/handmade/>)



FUCCO Vol.4

カタログは、1～500冊程度まで費用負担なしでお送りできますので、地域ご担当理事やコープ委員長などリーダー層の皆様への配布のほか、様々なイベントなどでの配布にご協力ください。また、地域のお店（カフェ・雑貨店など）で設置くださるお店がありましたら、ぜひご紹介ください。



新商品もありますよ！



コープみえさんから、今年も「つながりカレンダー」を届けていただきました！

2018年12月4日に、コープみえさんから、今年もつながりカレンダーを届けていただきました。



組合員さんにイラストとメッセージを募り、その中から季節に合った12枚を選んで作ったカレンダーです。

イラストが採用された組合員さんと役職員の方々8名が来福祉、福島市の復興公営住宅（北沢又団地）を訪問しカレンダーを贈呈。交流を深めました。



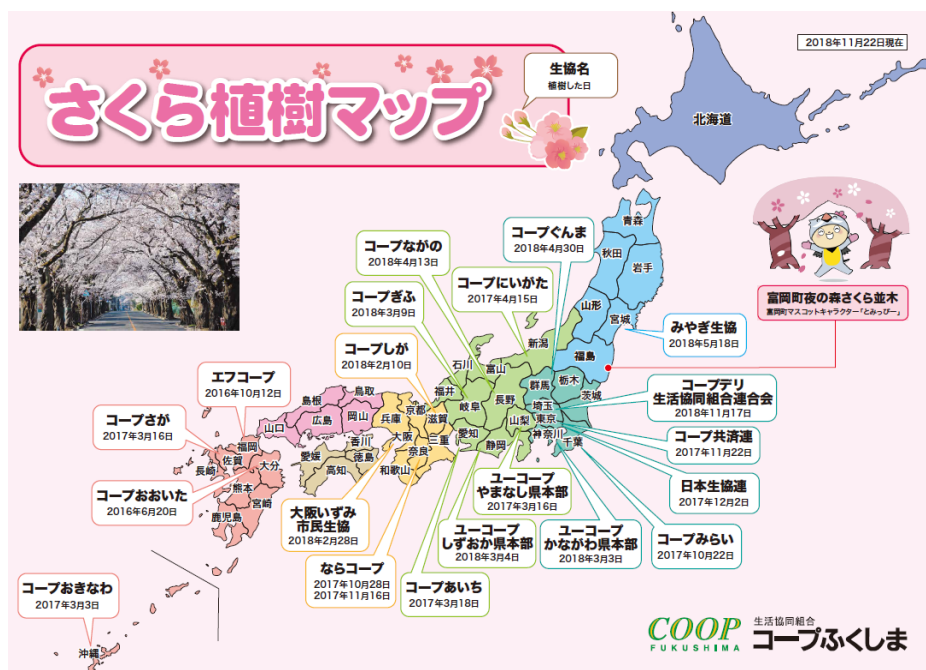
つながりカレンダーは、震災後に仮設住宅を訪問した際に「カレンダーがなくて困っている…」との仮設の方の声がきっかけとなって2012年から始まり、今回で7回目です。お届けいただいたカレンダーは、福島市県内の仮設住宅や復興住宅の方々、コープふくしまで行った親子企画に参加してくれた子どもたちなど、沢山の方々へお渡ししました。カレンダーを見ると、とっても暖かい気持ちになり、自然と笑顔が広がります。コープみえさんの継続したご支援に、改めて感謝申し上げます。



コープふくしまは富岡町「夜の森さくらプロジェクト」を応援しています！！～さくら植樹マップ～

『夜の森さくらプロジェクト』とは、東日本大震災、原子力発電所事故により全住民の町外避難が続くなか、富岡町民はもとより富岡町に関わる全ての方々の心の拠り所である「夜の森」の桜が、避難先で、また、富岡町に心を寄せてくださる方々の近くで、美しく咲き続けることができるようにと、福島県農林種苗農業協同組合の発案で、「夜の森」の桜の直系子孫を生産し、全国に広めていくプロジェクトです。

2016年10月にコープおおいたの植樹からはじまり、全国の生協へ



「夜の森さくら」の植樹をしています。昨年11月までに全国20か所の生協に協力を頂き植樹を行い、コープふくしまでは、植樹マップを作成しました。

春になると「昨年植樹した桜が開花しました～！」と嬉しい便りが届きます。コープふくしまは、これからも「夜ノ森さくらプロジェクト」の応援を継続していきます。



ならコープの金魚すくい♪子ども保養プロジェクトのご報告①

2018年12月8-9日（土・日）保養先：リゾート・イン・ぼなり（福島県苗代町）

参加者 9家族 子ども14名（内小学生1名）、大人10名

1.一日目 寒風の中でも元気に外遊び！

早朝に奈良を出発された、ならコープの理事さんら5名が参加しました。また、桜の聖母短大（福島市）の学生2名もボランティアで参加しました。

リゾート・イン・ぼなりに着くとさっそく外で“しっぽ取りゲーム”を行いました。風がありとても寒く、ゲームの後早々に引き上げる家族もいましたが、ボランティアの学生たちと元気に遊ぶ姿も見られました。



しっぽ取りゲーム

夕食会の時に、ならコープさんから生協のご紹介と翌日の金魚すくい大会の説明、たくさんの種類がある金魚の名まえを当てる宿題を出していただきました。

2.二日目 金魚すくい大会



屋内会場の4つの桶に1,000匹の和金（金魚の品種）をセットしました。金魚すくいが本格的な大会であることが判明し、参加者はびっくり！この企画のためにわざわざ大和郡山からおいでいただいた方が審判です。和紙のすくい網（ポイ）を使って、3分間でどれだけとれるかを争う競技です。未就学の子どもたちには競技は難しいので自由に金魚を取ってもらい、大会は大人だけで行いました。全員で予選の後、上位4名で決勝戦を行いました。見事な手つきで17匹をすくったお母さんが優勝しました。



決勝戦…泣いている子、3分間待っててネ。「金魚すくい」は、大和郡山では大会（競技）です。ママは熱中しました！

子どもたちが取った金魚は家に持ち帰り、残った金魚は、ぼなりの水槽で飼育してもらうことにしました。（元気で育ってます！）

【参加者アンケートから】

「とても楽しかったです。親子2人で初めての旅行でした。また参加したいです。いろいろな体験をさせてあげたいです。」





いばらきコープ親子体験ツアー♪子ども保養プロジェクトのご報告②

2018年12月15-16(土・日) かんぽの宿(茨城県潮来市)

参加者 7家族 大人7名/子ども11名

いばらきコープの親子体験企画は、2013年にスタートして今回で23回目を迎えました。茨城県と福島県はお隣同士で、どちらも原発立地県です。それだけに福島の子どもたちへの想いは深く、継続した支援をいただいています。



1. 一日目 「茨城県立白浜少年自然の家」フィールドワーク

杉板を焼きデコレーションした「焼杉オリジナルボード」を作りました。その後、園内21か所の表示を探して時間を競うフィールドワークを行いました。

かんぽの宿の夕食時には、いばらきコープの鶴長理事長さんがお越しになり、こよット!への応援メッセージとともにご挨拶をしてくださいました。名物のあんこう鍋を提供していただき、豪華な夕食となりました。



2. 2日目「やきいもファクトリー」スイートポテト作り体験

なめかたファーマーズヴィレッジにて

干し芋生産高日本一の茨城県。廃校となった小学校をリフォ



茨城にゆかりのある方の人形たちが、授業を受けている教室もありました(写真は、森光子さん)。

ームした「やきいもファクトリーミュージアム」の理科室で、裏ごしから整形まで行う、スイートポテト作りを行いました。

昼食は、イタリアンビュッフェレストランで、農場から直送された地元野菜をふんだんに使った料理を食しました。その後は、やきいもファクトリーミュージアム体験型工場で遊ぶ、学ぶ、食べるを楽しみました。



コック帽とエプロンが用意されていました!



仕上げのデコレーション

JAなめかた様より、さつまいも(紅優甘)をプレゼントしていただきました。ありがとうございました!



発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

末永、上田